

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 30

事務事業名	駐輪場管理事業
-------	---------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市長公室		
課名	安全対策課		
課長名	田中 勝保	内線	216
担当者名	楠本 哲夫	内線	214

基本目標		安全・安心なまち
政策	030301	交通安全と消費者保護の推進
施策		交通安全の推進
関連施策	030401	犯罪のないまちづくり

会計	一般会計	
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	9	交通安全対策費
事業コード	040000	駐輪場管理事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	通勤・通学等で駐輪場を使用する市民等		
意図 対象をどのような状態にしたいか	整理・整頓された利用しやすい駐輪場を維持する。また、利用者に正しい利用の仕方を指導し、駐輪場内での事故等を防止する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	大村市駐輪場(大村駅前)において、利用者の自転車及びバイクの管理又はサイクルラックの正しい利用の指導をシルバー人材センターに委託するとともに、定期的に、サイクルラックの補修及び点検を行う。		
事業期間	平成 8 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標 ①	自転車駐輪可能台数	計画値	620	620	620	620	
		実績値	620	620	620		
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
活動指標 ②	管理業務日数 (管理・指導日、保守点検の日数)	計画値	193	244	243	244	
		実績値	193	244	243		
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標 ①	駐輪場利用台数(自転車) (1日当たりの平均利用台数)	計画値	620	620	620	620	
		実績値	596	575	615		
		達成度	96.1%	92.7%	99.2%		
成果指標 ②		計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,021	2,792	2,821	2,596	2,391	1,500	1,500	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	2,021	2,792	2,821	2,596	2,391	1,500	1,500	
② 人件費(千円)	636	756	705	727	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.08	0.10	0.10	0.10	・駐輪場管理業務 ・機器保守点検	・駐輪場管理業務 ・機器保守点検	・駐輪場管理業務	
時間外勤務(時間)	0	0	0	0				
嘱託等人数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00				
フルコスト(①+②千円)	2,657	3,548	3,526	3,323				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたが(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	市立図書館玄関前の長期放置自転車を撤去したところ、当該場所に駐輪する自転車は皆無となった。
事業が抱える問題・課題等	これまで市立図書館玄関前に駐輪していた自転車が、大村市駐輪場へ移動してきたことにより、駐輪ラックの空きが不足し、通路に置く状況が増えている。盗難発生の原因にもつながる恐れがあることから、管理人による指導・管理の強化が必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	JR大村駅を通勤又は通学で利用し、かつ自転車を利用する市民等の駐輪スペースを確保するための必要な施設であり、利用者が常に快適に利用できるよう、管理業務は必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市営の駐輪場であり、市の関与は当然である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	場内の長期駐輪している自転車については、定期的に勧告・撤去を行い、収容台数でほぼ運営できている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	JR利用の通勤・通学者等にとって利便性は高く、必要不可欠である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	シルバー人材センターに委託するなど、低コストで運営しており、削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	シルバー人材センターに委託するなど、低コストで運営しており、削減の余地はない。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	その他の見直し
--------	---------

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	駐輪ラックの老朽化による使用中の事故等が発生しないよう、指導・管理の徹底に努める。また、ラック不足による通路使用の場合は、施錠の徹底と整理整頓に努めるよう指導し盗難防止を図る。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	管理指導を徹底することにより、利用者の利便性向上と犯罪の抑止が期待できる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。